

平成29年度 事業計画

1 基本方針

わが国の経済は緩やかな回復を続けている一方、急速に進む少子・高齢化そして人口が減少に向かう中で、社会・経済の維持発展を図るためには高齢者の就労促進が大きな課題となっております。これに対処するため、国の平成29年度予算では人手不足分野や介護・育児等現役世代を支える分野への高齢者の就業支援を積極的に進めております。

当センターにおきましても、これら国や関係市町の施策を踏まえながら積極的に就業機会の確保、ボランティア活動を通じた地域貢献に取り組んでまいります。

まず、会員の拡大であります。平成22年度をピークに減少している会員数を増加に転じるよう各種施策に取り組むとともに、会員の資質向上を図ってまいります。

就業機会の拡大については、介護保険など新たな分野での就業機会の創出を進めてまいります。また、企業の人手不足の解消を図る上でのシルバー派遣事業を拡大し、現役世代のサポートをしてまいります。

安全就業であります。昨年度は死亡事故をはじめとした重篤事故が発生しました。「安全はすべてに優先する」「安全無くして就業なし」を合言葉に安全パトロールや研修等を通じて事故の撲滅に取り組んでまいります。

そして、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、地域班、職群班等と連携を図りながら、地域から信頼されるセンターを目指し事業を推進してまいります。

2 目標数値

会員数	2,100人
契約金額	914,000千円
就業率	99.5%

3 事業実施計画

(1) 普及啓発活動の充実

シルバー人材センターの活動を会員をはじめ地域住民・企業等に積極的にPRし、センター事業の活動を広く周知していきます。

- ア 全地区で一斉にボランティア活動を行なう「シルバー奉仕デイ」の実施（年2回）
- イ 理事、事務局職員による一般家庭へのPRチラシの配布
- ウ 会員全員による自宅周辺でのPRチラシの配布
- エ 地元新聞や市・町広報紙等の積極的な活用
- オ 各種メディアへの積極的な取材依頼
- カ 高齢者を支援する団体との連携によるPR活動
- キ ホームページの充実
- ク 会員向け会報「茶の間」、「生き生きセンターだより」を通じたセンターの情報提供

(2) 会員の増強

会員の減少及び高齢化が進む中、多様な仕事を請けられるようにするため、経験と技能・知識等をもつ会員を一人でも多く増やしていく必要があります。

- ア 入会用チラシの全戸配布
- イ 全会員による友人、知人等へ入会の勧誘
- ウ 会員紹介によるポイント制度の活用
- エ 女性会員増強のための「女性会員の集い」の開催
- オ 全会員研修及び新入会員研修の参加促進
- カ 就業増及び後継者づくりのための研修の充実
- キ 「会員相談日」の利用促進
- ク 信濃町及び飯綱町での入会説明会の実施

(3) 就業機会の拡大

一人でも多くの会員に、就業の機会を提供していくために、役員、会員及び職員が一体となって就業の確保に努めます。

- ア 就業情報案内による就業機会の提供
- イ 派遣事業の積極的な取組による就業機会の拡大
- ウ 会員一人ひとりが「就業開拓員」になり就業開拓
- エ 職群班が連携し、家庭からの仕事を一括受注

- オ 企業等を訪問し、継続的な仕事の新規受注を獲得
- カ 過去に受注していた企業等を訪問し、受注を復活
- キ 発注先へ訪問し、就業状況のフォローを行うとともに、新たな仕事を開拓
- ク 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- ケ 空家管理、出張理容等新規事業の実施

(4) 安全・適正就業の徹底

就業中や就業途上での事故ゼロを目指し、安全対策の強化と適正就業に努めます。

- ア 全会員対象の安全研修及びマナー研修の充実
- イ 全会員への「適正就業ガイドライン」の周知徹底
- ウ 職種別の安全研修及び技術研修の充実
- エ 安全パトロールの実施
- オ 事故事例を分析し会員に周知
- カ 「就業前点検の徹底」の推進
- キ 健康診断の受診奨励による健康管理の徹底
- ク 安全用具装着、安全標識設置の徹底
- ケ 安全推進員研修の実施
- コ 発注者に対する適正就業の周知

(5) 自主自立組織の推進

役員・会員が自主的、主体的に組織運営に関わり、社会貢献に努めます。

- ア 理事会、部会、委員会等の組織活動の活性化
- イ 地域班会議、ボランティア活動等への積極的な参加による地域班の活性化
- ウ 職群班の機能充実
- エ 事務局職員の資質向上のため研修強化
- オ 事務・事業の見直しを行い経費の節減

(6) 関係機関との連携強化

構成市・町などと連携を図り、行政が進める各種施策に協力し、地域に貢献する事業を展開します。